

# 平成12年度原子力防災訓練の結果

## (特殊災害室)

原子力防災訓練が、10月28日(土)に行われました。

今回の訓練は、平成11年9月の茨城県東海村ウラン加工施設の臨界事故等を教訓として制定された原子力災害対策特別措置法（本年6月施行）の規定に基づいて行われたものであり、また、法施行後初めて実施されたものです。

### 1. 訓練の目的

- (1) 国、地方公共団体、原子力事業者等が具体的な事故想定の下に、法令等の枠組みに従った所要動作の訓練を実施して緊急時対応の習熟を図ります。
- (2) 原子力事業者の通報、原子力緊急事態宣言発出等の訓練を行います。
- (3) 改訂された防災基本計画・原子力災害対策編、地域防災計画等の実効性を検証し、より具体的なものに改訂する課題を抽出します。
- (4) 地域住民の参加により、原子力防災等に対する理解の向上を図ります。

### 2. 訓練の想定内容

訓練は、平成12年10月28日(土)中国電力株式会社島根原子力発電所2号機（島根県鹿島町）において、運転中に原子炉冷却系に幾つもの事故が重なり、全ての非常用炉心冷却装置の機能が喪失し、これにより炉心が損傷し、放射性物質が原子力発電所敷地境界外へ放出されるという原子力緊急事態を想定して行われました。

### 3. 訓練内容

- (1) 国、地方公共団体及び原子力事業者共通の訓練
  - ア 原子力事業者からの通報等の通信連絡
  - イ オフサイトセンターの立ち上げ等
  - ウ 現地の原子力災害合同対策協議会の運営
- (2) 国が主体の訓練
  - ア 内閣総理大臣が行う原子力緊急事態宣言発出等
  - イ 原子力災害対策本部（本部長：内閣総理大臣）の設置、現地等からの情報の収集等
  - ウ 原子力災害現地対策本部の運営等
- (3) 地方公共団体が主体の訓練
  - ア 地方公共団体の災害対策本部の設置等
  - イ 住民等の避難・退避、避難所の開設等
  - ウ 消防、警察、自衛隊等による避難誘導
  - エ 地上、海上、空中からのモニタリング
  - オ 避難用車両の誘導、住民等への広報

### 4. 訓練実施場所

- (東京) 政府の原子力災害対策本部  
[官邸・危機管理センター]
- (島根) 原子力合同対策協議会  
[オフサイトセンター]

### 5. 自治省消防庁としての訓練

西田自治大臣兼国家公安委員会委員長は、内閣総理大臣を本部長とする政府の原子力災害対策本部会議に参加しました。

また、自治省消防庁では、原子力防災訓練に対応するため、関係省庁事故対策連絡会議

の副議長として次長が参加したほか、以下の実践的な訓練を実施しました。

- (1) 政府の原子力災害対策本部及び島根県との情報収集・伝達訓練
- (2) 政府の原子力災害対策本部事務局次長として特殊災害室長を派遣したほか、総括班及び住民安全班の要員派遣による訓練

- (3) 政府の原子力災害現地対策本部事務局次長及び原子力災害合同対策協議会構成員として広域消防応援対策官を派遣したほか、総括班、医療班及び住民安全班の要員派遣による訓練

- (4) 官邸対策室への事務局要員派遣による訓練



原子力災害合同対策協議会全体会議の訓練  
(オフサイトセンター内)



原子力災害合同対策協議会総括班等の訓練状況

# トップマネージャーセミナー（フィリピンの消防行政に携わる幹部職員との交流セミナー）の実施

（消 防 課）

消防庁では自治省とともに、国際協力事業団（JICA）と協力し、平成10年度から政府開発援助（ODA）の一環として、消防行政に携わる幹部職員を日本に招へいし、消防行政をめぐる諸課題について意見・情報等の交換を行うことにより、消防行政分野での友好・協力関係の推進を図るため、トップマネージャーセミナーを実施しています。

今年度は、フィリピンからレイナルド・H・ハイロ内務地方行政省次官補、フランシスコ・S・セノット消防局局長及びロヘリオ・F・アシグナド国立消防学校長の3名を招いて、平成12年11月8日(水)から11月16日(木)の9日間の日程により、消防庁、消防大学校、消防研究所、東京消防庁、横浜市消防局、京都市消防局等の視察、意見交換等を実施しました。

フィリピンにおいては、内務地方行政省消防局を中心として、国家消防という形により消防行政が実施されていますが、消防職員数、消防施設・機材の整備状況、教育訓練体制など、消防体制全般に渡って改善を図るべき状況にあります。

フィリピンと我が国の間においては、消防集団研修の研修員受入れや消防専門家の派遣など、様々な形で友好協力関係を構築してきたところですが、今回のトップマネージャーセミナーを通じて、フィリピンの消防体制整備に係る我が国の支援の重要性があらためて認識されるとともに、両国消防幹部の相互理解、交流推進が図られました。



消防庁訪問



消防大学校視察

# 第48回全国消防技術者会議の結果

## (消防研究所)

消防研究所では、平成12年10月19日(木)及び20日(金)の2日間、ニッショーホールにおいて「第48回全国消防技術者会議」を開催し、延べ766名のご参加をいただきました。

会議では、物理学者・技術評論家 桜井 淳氏の「原子力災害への対応策－米ブラウンスフェリー原発火災事故の恐怖－」と題する特別講

演に続き、消防職員等から27件の研究発表が行われ、うち4件は「消防用機器開発」をテーマとするフォーラム形式で、4件は会場に開発・試作された機器等を展示して発表する形式で行われ、聴講者からは熱心な質問がなされるなど、盛況のうちに無事終了しました。



桜井 淳 氏による特別講演



研究発表



# 全国消防操法大会

(消 防 課)

第17回全国消防操法大会が、去る10月19日(木)午前9時から日本消防協会中央消防訓練場(横浜市消防訓練センター)において開催されました。

この大会は、いかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に行動出来るように常に訓練を重ね、技術の習得に励んでいる消防団の日頃の訓練の成果について、消防用器具の操法を競うものです。

今回は、各都道府県から代表として、本業の多忙な中、寸暇を割いて訓練に励み、その成果を十二分に発揮すべく、ポンプ車の部として25団体、小型ポンプの部として22団体が参加しました。

開会式には、内閣総理大臣(代理：中谷 元自治総括政務次官)、鈴木正明消防庁長官が出席され祝辞を述べられました。

大会の結果は次のとおりで、優勝団体には、消防庁長官からの賞状及び優勝旗が、伊藤廉消防大学校長から授与されました。

(ポンプ車の部)

優 勝	南郷村消防団 (青森県)
準優勝	中之条町消防団 (群馬県)
準優勝	豊明市消防団 (愛知県)
準優勝	東金市消防団 (千葉県)
優良賞	金峰町消防団 (鹿児島県)
優良賞	小郡町消防団 (山口県)
優良賞	三崎町消防団 (愛媛県)
優良賞	河南町消防団 (宮城県)
優良賞	大東町消防団 (島根県)
優良賞	福山市消防団 (広島県)

(小型ポンプの部)

優 勝	伊野町消防団 (高知県)
準優勝	大野城市消防団 (福岡県)
準優勝	山本町消防団 (秋田県)
準優勝	上田市消防団 (長野県)
優良賞	東根市消防団 (山形県)
優良賞	愛川町消防団 (神奈川県)
優良賞	利賀村消防団 (富山県)
優良賞	川南町消防団 (宮崎県)
優良賞	牛深市消防団 (熊本県)
優良賞	かつらぎ町消防団 (和歌山県)



中谷 元 自治総括政務次官



鈴木正明消防庁長官

# 全国火災予防運動防火ポスターモデル(神戸みゆきさん) による消防大学校訪問と消火訓練

## (予 防 課)

11月9日(木)から11月15日(水)までの7日間にわたり、火災予防運動が全国一斉に実施されました。この運動期間中である11月14日(火)に、防火ポスターのモデルとしてご協力いただいた“神戸みゆき”さんによる消防大学校の訪問と、消火訓練が行われました。

日本消防検定協会の試験場を借りて行われた消火訓練には、鈴木消防庁長官も指導者として参加し、神戸みゆきさんが油やカーテンの火災

を想定した、実際の消火器（粉末消火器及び住宅用強化液消火器）による消火を体験しました。

訓練中の神戸さんは終始真剣な態度で、訓練終了後には「これで何かあっても大丈夫！」と、心強く語っていました。

なお、消火訓練の前に実施された東京消防庁調布消防署による消防訓練では、要救助者として参加し、3階建ての建物屋上からはしご車で救出されるなど、訓練に一役買っていました。



## 危険物安全週間推進標語募集

(危険物規制課)

石油類をはじめとする危険物は、自動車、ストーブ、ボイラーの燃料や化粧品、あるいは塗料などの化学工業製品の原料に利用され、広く私たちの日常生活に浸透している反面、ひとたびその取扱いを誤ると、火災、爆発等の事故を引き起こし、多くの生命や財産を一瞬にして奪ってしまう場合も少なくありません。

こうした事故の発生を未然に防止するため、消防庁では、地方公共団体、全国消防長会及び財団法人全国危険物安全協会と共催で、関係諸団体の協賛のもとに「危険物安全週間」を6月の第2週（平成13年度は6月3日(日)～6月9日(土)まで）に設定し、危険物関係事業所における自主保安体制の確立並びに家庭や職場において危険物を取り扱う方々の危険物の安全の確保に関する意識の高揚及び啓発を推進していくこととしております。

この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を図るため、消防庁、地方公共団体、全国消防長会及び財団法人全国危険物安全協会では、「危険物安全週間推進標語」を広く募集します。応募方法は以下のとおりです。

応募作品のうち、最優秀作品及び優秀作品の表彰は「危険物安全週間」中に危険物保安功労者、優良危険物関係事業所の表彰とあわせて行う予定です。

また、最優秀作品については、危険物の保安に関する意識を啓発するポスターに使用し、平成13年5月頃、都道府県、市町村、消防機関、危険物関係事業所等に配布するなど、様々な形でその周知を図っていくこととしております。

なお、平成13年度のポスターモデルは、**シドニーオリンピック女子競泳選手**の中軸的役割を

担い、女子400mメドレーリレー平泳ぎの選手として銅メダルを獲得した**田中雅美**さんを予定しております。

**応募方法** 官製はがき1枚につき、標語1点とします。  
郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号を必ず明記してください。  
応募作品は、未発表のものに限ります。

※ 官製はがき以外の応募や記入事項に不備がある場合は無効とします。

**応募資格** 特に制限はありません。

**締 切** 平成12年12月27日(水)必着

**選考方法** 関係行政機関、学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

**賞**

最優秀賞	1点	消防庁長官賞と副賞20万円
	1点	全国危険物安全協会理事長賞と副賞10万円
	10点	記念品

※ 入選作品の応募者には、その旨お知らせします。

入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

**あて先** 〒105-0001  
東京都港区虎ノ門2丁目9番16号  
日本消防会館5階  
(財)全国危険物安全協会内  
危険物安全週間推進協議会  
TEL03-3597-8393

## 過去の最優秀作品推進標語（ポスターモデル）

平成2年度	“まさか”より “もしも”で守ろう	危険物	(ゴルフ 日陰温子)
3年度	危険物 いつも本番 待ったなし		(競馬 武 豊)
4年度	心、技、知、 危険物には 真剣勝負		(サッカー 三浦和良)
5年度	危険物 その時その場が 正念場		(柔道 古賀稔彦)
6年度	一瞬の すきも許さぬ 危険物		(サッカー 松永成立)
7年度	確実な 攻守がきめての 危険物		(棋士 羽生善治)
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中		(テニス 沢松奈生子)
9年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物		(ラグビー 平尾誠二)
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね		(ゴルフ 芹澤信雄)
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検		(囲碁棋士 梅沢由香里)
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検		(野球 古田敦也)



平成12年度危険物安全週間推進ポスター  
(ポスターモデル 古田敦也選手)



# 消防庁長官褒状の授与

(震災対策指導室)

平成12年6月26日からの伊豆諸島群発地震災害及び平成12年10月6日に発生した平成12年鳥取県西部地震災害の発生に際しては、多数の消防機関等が災害防御活動・警戒活動等に活躍されました。関係各機関の皆様方におかれましては、大変お疲れさまでした。

消防庁では、このような大規模な災害や国の施策等、住民の安全確保について功労顕著な消

防機関等に対し、消防庁長官褒状を授与しており、これまでに、有珠山噴火災害、九州・沖縄サミットにおいて尽力された消防機関等に授与されています。

今回、伊豆諸島群発地震災害及び平成12年鳥取県西部地震災害において尽力された以下の16消防機関等に対して、平成12年11月に褒状を授与いたしました。

## 【伊豆諸島群発地震災害対応消防機関】

地元消防機関等（3機関）

新島消防団 式根島消防団 神津島村消防団

以上 3機関

## 【平成12年鳥取県西部地震災害対応消防機関等】

地元消防機関等（9機関）

鳥取県西部広域行政管理組合消防局	西伯町消防団	溝口町消防団
米子市消防団	会見町消防団	安来市消防団
境港市消防団	日野町消防団	伯太町消防団

広域航空消防応援隊・緊急消防援助隊等（4機関等）

鳥根県防災航空隊

大阪市消防局航空隊

神戸市消防局（緊急消防援助隊指揮支援部隊・消防機動隊）

広島市消防局（緊急消防援助隊指揮支援部隊・消防航空隊）

以上 13機関等

## 平成12年10月の主な通知・通達

発 番 号	日 付	あ て 先	発 信 者	標 題
消防危第102号	10月6日	各都道府県消防主管部長	危険物規制課長	ガソリン缶詰の取扱い等に関する指導について
消防予第237号	10月24日	各都道府県消防主管部長	予防課長	消防防災用設備等の性能評定について

### 11月の広報テーマ

秋季全国火災予防運動

11月9日は「119番の日」

住宅防火対策の推進<住宅防火診断>

たき火による火災の防止

住民参加による防災まちづくりの推進

危険物施設等における事故防止

---

編 集 発 行 消 防 庁 総 務 課

〒105-8489 東京都港区虎ノ門2丁目2番1号

TEL 03 (5574) 0121

消防庁ホームページ

<http://www.fdma.go.jp>

---